

# 千葉県 NEWS

## CHIBA CANCER CENTER NEWS

# がんセンターニュース



第36号

平成29年7月3日発行  
発行/千葉県がんセンター

### 理念

心と体にやさしく、希望の持てるがん医療

私たちは一人でも多くの患者さんに  
質の高いがん治療を提供します。

## 病院長就任のご挨拶と千葉県がんセンターの新体制のご紹介

千葉県がんセンター病院長 やま ぐち たけ と 山口 武 人



4月から病院長に就任いたしました、山口武人です。よろしくお願ひいたします。今回は千葉県がんセンターの新しい体制について、少し詳しくご紹介させていただきます。本年度から副病院長2名体制となりました。石井猛副病院長は整形外科が専門で、病院内の診療全般

について統括するとともに、経営戦略と新病院の準備を所掌します。浜野公明副病院長は泌尿器が専門で、医療安全と拠点病院事業を統括します。飯笹俊彦医療局長は呼吸器外科専門で、従来通り医療局の統括を、また診療部長についても其々の所掌を明確にしました。以下、専門と所掌を挙げます。高野英行診療部長、画像診断専門、教育・臨床研修所掌、高山亘診療部長、肝胆膵外科専門、地域医療連携所掌、藤里正視診療部長、緩和医療専門、患者相談支援・緩和医療所掌、また石川隆尉診療部長は本年度から赴任し、専門・所掌も循環器内科の統括です。事務局も移動があり、新しく中村敏親事務局長が赴任しました。看護局幹部の異動はなく、また研究所も従来通りです。

ご承知の通り、当センターはここ3年ほど非常に厳しい状況でした。もちろん、患者さんご家族の皆様に変なご迷惑をおかけしたことをお詫びし、その反省のもとに改革・改善に取り組んできました。それらの成果は、着実に挙がってきております。私も副病院長としてこの間、改革・改善に取り組んできましたが、

職員の皆さんの努力なくしては現在のような成果は得られなかったと思います。一方、職員にとっては精神的につらい時期でしたが、おそらくそれ以上に前病院長の永田先生は大変なご苦勞をされたことと思います。医療事故、不祥事のたびに矢面に立ち、対応に当たってこられました。ご一緒に記者会見をした事も、何度もありました。表情は冷静でしたが、ストレスはかなりのものだったと思います。現在、千葉県がんセンターが少し落ち着きを取り戻してきているのも、永田前病院長のご努力のおかげと感謝しています。

今後も医療安全をはじめとして、病院組織の改革・改善は継続して行われなければなりません。並行して従来の千葉県がんセンターの伝統、すなわち高度ながん医療の実践を目指すことも必要です。また、新病院建設も滞りなく行われなければなりません。病院長としての重責をひしひしと感じております。

以前、リーダーについてどう考えるかという質問を受けたことがあります。私は「リーダーはまず信念を持ち、その信念に基づいて決断すること、そして決断したことはすべて責任を負うこと」と答えました。少しかっこいいことを言い過ぎたかなとも思いましたが、病院長に就任した以上はこれで行こうと思っています。また、別の機会に病院運営についての質問があり、その時は「病院運営の根本は、患者さんの満足、職員の満足、そして健全経営です」と、とっさに返答しました。この答えはおそらくどこかで目にした受け入りだと思っておりますが、全くその通りだと考えています。この病院運営を目指し、病院長としての役割を果たすべく頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

# 臨床の現場から

## 「最近の治験の現状」

治験臨床試験推進部 廣中 秀一

**治**験とは、医薬品や医療機器の製造販売に関して、保険承認を得るための臨床試験です。新薬が日常診療で使われるようになるには、国が定めた厳しい審査基準のもとに治験が行われ、有効性と安全性が示され、基準をクリアした薬が保険承認を経て投与が可能になります。

表1に当院で新規に開始された治験件数と初年度以降の継続治験件数の推移を示します。H19年度以降、治験件数が増加し、H28年度ではH19年度の4倍にまで増えました。最近の新薬の特徴として、分子標的薬剤はもちろん、特に免疫チェックポイント阻害剤の治験が多数を占めています。

もう一つの特徴は、国際共同治験の増加です。以前は日本国内のみで行う治験が多数でしたが、最近では外国

と共同で治験が行われ、有効性と安全性が認められた薬は世界同時承認という流れになってきています。表2を見ますと、当院の新規治験のうち、国際共同治験の割合がH28年では8割を超えるほどに増加しました。国際共同治験における公用語は英語ですので、治験の会議は英語で行われますし、症例報告書も治験コーディネーターに英語での入力求められます。国内治験よりもやや大変ですが、充実した仕事を行っています。

今後の治験では、ますます国際化の動きが加速すると思われま。このような動きにより、治験の患者登録が早く終了し、結果が早く出ることによって新しい有効な薬が早く患者さんに届けられるメリットが期待されます。

最後に、私が所属する「治験臨床試験推進部」は昨年までは「臨床試験推進部」でしたが、この2017年4月から「治験」という2文字が加わりました。さらに、院内には「治験臨床研究センター」が設置され、治験を全面的に進めていくという千葉県の意気込みを感じます。我々治験臨床試験推進部は、千葉県のがん患者さんに最新の医療をいち早く提供できるよう、しっかりと支援していきます。

表1 新規と継続の治験件数の推移

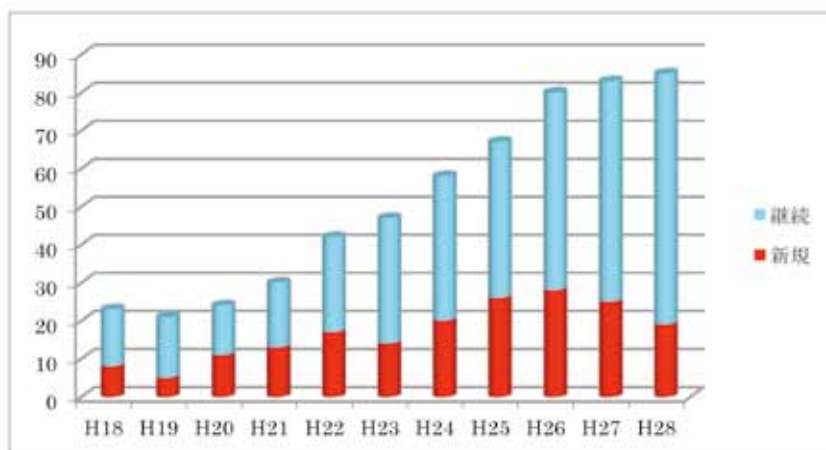
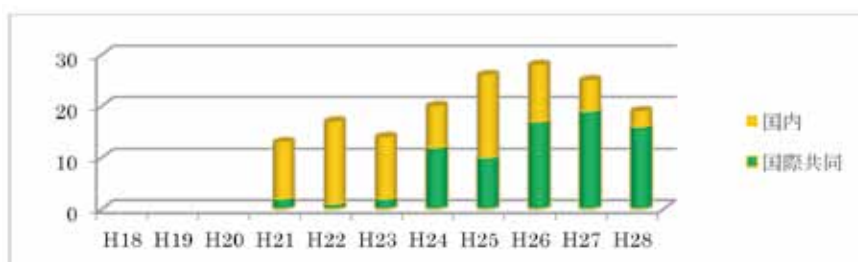


表2 国内治験と国際共同治験の推移



## 医療コンシェルジュを配置しました

千葉県がんセンターでは昨年10月より、外来患者さんが多い時間帯の午前8時30分から午後2時まで、外来ロビーに医療コンシェルジュを配置しています。

医療コンシェルジュの業務内容は、再来機や自動精算機の操作支援、受診手順や院内外施設の案内、申込書の記入案内や代筆、処方箋送信用のFAX操作支援、帰りのタクシーの案内や手配、急変患者発生時の看護師との連携等多岐にわたりますが、これらのサポートは社会の高齢化に伴い当センターの患者さんも高齢の方が増えていることもありニーズが高まっていると言えます。



また、がん専門病院である当センターを訪れる患者さんは大きな不安を抱えているため、マニュアル的な対応ではなく、常に患者さんひとりひとりの表情やしぐさを見て話を聴いて、今どのようなお気持ちなのかを察するように努め、的確なサポートが行えるよう心がけています。例えば、会計待ちで座席がいっぱいになり、立っている患者さんにパイプ椅子を追加して座って頂くことや、検査結果を見ている患者さんには検査内容の解説書を渡す等の対応も行っていますが、これまで述べてきたような医療コンシェルジュの対応が、患者さんの肉体的・精神的負担の軽減となり、それが結果的に当センターへの「安心感」や「信頼感」につながることを目指しています。

最近では、患者さんからの感謝の声も複数届くようになってきています。また、本業務は医事会計業務も請け負っている(株)エヌジェーシーへ委託して行っていますが、医療コンシェルジュの働きを間近に見ることにより、病院職員の接遇面でも良い影響が出始めていることを実感しています。

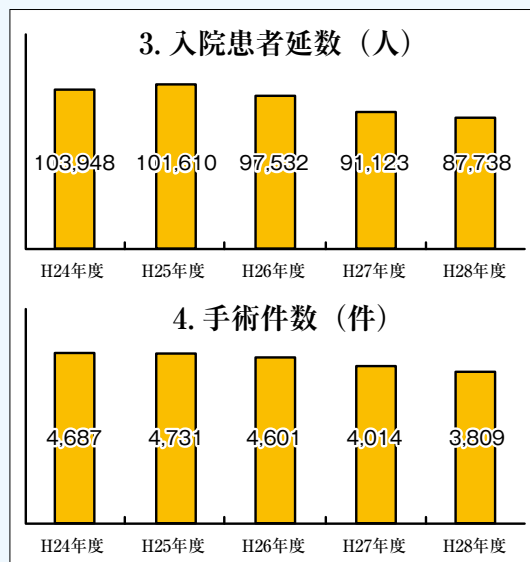
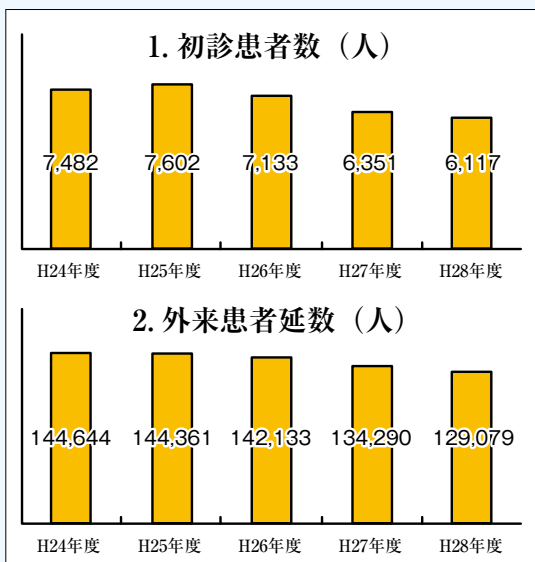
## 診療実績

平

成 28年度の初診患者数は前年に比べて234人減っています。それに伴い、外来患者延数、入院患者延数、手術件数もそれぞれ減少しています。

### 患者数の動向

### 診療情報管理室



# 初診担当医表

2017年6月1日現在

## 【予約受付時間】

月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

9時～17時

診療科	月	火	水	木	金
食道・胃腸外科	池田 篤 外岡 亨	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤	鍋谷 圭宏 滝口 伸浩	早田 浩明 星野 敢
肝胆膵外科	千葉 聡	高山 亘	高山 亘 石毛 文隆	柳 桐 浩男	千葉 聡 石毛 文隆
消化器内科	傳田 忠道 廣中 秀一 鈴木 拓人 喜多 絵美里	傳田 忠道 須藤 研太郎 三梨 桂子	山口 武人 傳田 忠道 廣中 秀一 中村 和貴	傳田 忠道 廣中 秀一 鈴木 拓人 辻本 彰子	中村 和貴 須藤 研太郎 三梨 桂子 北川 善康
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和 松井 由紀子		岩田 剛和 松井 由紀子
呼吸器内科	芦沼 宏典	新行内 雅斗 吉田 泰司 芦沼 宏典		新行内 雅斗 吉田 泰司	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木 寿子 佐藤 菜実	味八木 寿子 寺中 亮太郎 （担当医）	中村 力也 佐藤 菜実	味八木 寿子 寺中 亮太郎 （担当医）	中村 力也 味八木 寿子 佐藤 菜実
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	大崎 達也	田中 尚武 鈴鹿 清美 （腹腔鏡手術）		田中 尚武 鈴鹿 清美	
泌尿器科	小丸 淳 植村 俊彦	篠崎 哲男	大塚 真史 鎌迫 智彦	小林 将行 竹下 暢重	深沢 賢 篠崎 哲男
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 伊勢美樹子	辻村 秀樹 菅原 武明	熊谷 匡也 菅原 武明	熊谷 匡也 伊勢美樹子	熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦	（担当医）	井内 俊彦	（担当医）	堺田 司
頭頸科	佐々木 慶太 佐々原 剛	佐々木 慶太 佐々原 剛 木下 崇		佐々木 慶太 佐々原 剛 大熊 雄介	
整形外科	石井 猛 米本 司 塚西 敏則	石井 猛 鴨田 博人		石井 猛	米本 司 鴨田 博人 塚西 敏則
緩和医療科	秋月 晶子	秋月 晶子		秋月 晶子	秋月 晶子
精神腫瘍科	秋月 伸哉	秋月 伸哉		秋月 伸哉	秋月 伸哉
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

## 【診療予約のご案内】

予約電話 043-264-5431（代表番号）

地域医療連携室 予約担当

\*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。

\*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

# 看護の現場から

## がん性疼痛看護認定看護師 樋口こず絵

千

千葉県がんセンターでは、平成27年より専門看護師・認定看護師による「看護相談」を開始しました。患者さんが抱える「がん」に関する悩みや不安など、それぞれの専門知識と技術を持った看護師が個別に相談を受け、ニーズに合わせた対応をしています。

化学療法の進歩により、疾患を抱えながら地域で生活する患者さんが増加していることや平均在院日数の短縮化により、質の高い看護の必要性が高まっている状況があります。がんに伴う症状の緩和、治療に伴う有害事象のマネジメント、療養のサポートなど、患者さんやそのご家族の日常生活の充実に貢献できるようQOLの向上を目指しています。

看護相談は、当センターに通院・入院をしている患者さんとその家族を対象にしています。化学療法、栄養、スキンケア、乳がん、痛み、放射線治療に関するそれぞれ6領域の専門・認定看護師が担当しています。実際の相談は、身体の症状での困りごとが半数を占め、次いで生活上の気がかり、治療に関する気がかりが多いです。具体的には病気や治療方法を詳しく聞きたい、抗がん剤治療の副作用との付き合い方を知りたい、皮膚のケア方法や治療による皮膚のただれのケア方法を教えて欲しい、治療の選択で迷っており話を聞いて欲しいなどです。ご家族からの相談も受けています。

予約制ではありますが、随時ご希望に合わせて調整は可能です。患者さんやご家族が抱えている悩みや不安が少しでも緩和され、その人らしい生活が送れるよう支援を行いたいと考えていますので、お気軽にご相談下さい。また、医療者からの相談も受けていますので、ご連絡頂ければ対応させていただきます。

そして、県内の看護師さんとの相互理解を深め、顔の見える連携に繋がりたいと考え「千葉がん看護学習会」を立ち上げました。定期的な開催を図り、患者さんにご家族に出来ることを共に学び実践に繋がりたいと考えています。

### 千葉県がんセンター 認定・専門看護師による 看護相談のご案内

患者さんやご家族の「がん」に関する疑問や不安などの相談を、それぞれの専門知識と技術をもった看護師（専門・認定看護師）が個別に相談に応じます。 お気軽にご相談ください。

**【抗がん剤治療に関するご相談】**

これから化学療法の治療を受ける方や化学療法について不安に思うことをご相談下さい。また、化学療法による副作用症状のご相談もお受けします。

日時  
月曜日 11時0分～11時30分  
13時30分～15時30分  
水曜日 11時0分～11時30分  
木曜日 11時0分～11時30分

担当  
がん化学療法看護認定看護師  
がん看護専門看護師

**【乳がん治療に関するご相談】**

乳がんの治療、妊産婦・乳癌再発・遺伝性乳がん・乳房などについて悩んでいる方などのご相談をお受けします。

日時  
木曜日 15時0分～16時30分  
金曜日 15時0分～16時30分

担当  
乳がん看護認定看護師

**【スキンケアに関するご相談】**

手足が冷かぬらない、赤ずきんも知らない、皮膚が乾燥して皮膚が荒れている、痒がわかない、腫れがわかないなどの悩みを抱えている方などのご相談をお受けします。

日時  
水曜日 13時0分～15時30分

担当  
皮膚・スキンケア認定看護師  
がん看護専門看護師

**【放射線治療に関するご相談】**

これから放射線治療を受ける方や、放射線治療について不安に思うことをご相談ください。また放射線治療による副作用症状のご相談もお受けします。

日時  
月曜日 10時0分～10時30分  
水曜日 9時0分～10時30分

担当  
がん放射線療法看護認定看護師

**【がんの痛みに関するご相談】**

痛みでお困りの方、お悩みを抱えている方などのご相談をお受けします。

日時  
月曜日～金曜日  
9時0分～9時30分

担当  
がん疼痛看護認定看護師

**【食べることに関するご相談】**

食事が入りづらい、飲み込みにくい、つらさを感じる、食事が思うように摂れないなどお困りの方、不安や悩みを抱えている方などのご相談をお受けします。

日時  
火曜日 13時30分～15時30分

担当  
摂食・嚥下看護認定看護師

相談をご希望の方は  
お近くの看護師に声をかけ下さい。

相談は随時お受けすることが出来ます。  
各相談に記載した日時で予約することも可能です。  
ご都合が合わない場合は、調整が出来ますので、お伝えください。  
ご家族のみでの相談もお受けします。

第6回

## 心と体総合支援センターシンポジウム

平成29年2月25日(土) 午後1時から、京葉銀行文化プラザにて「第6回心と体総合支援センターシンポジウム」が開催されました。がん患者さんとそのご家族、医療関係者などが参加されて、来場者の方はメモを取りながら熱心に講義に耳を傾け、時間ぎりぎりまで質問がありました。

永田前病院長によるあいさつの後、虎の門病院臨床腫瘍科部長の高野利実先生が「がんとともに自分らしく生きる」と題して、ご講演いただきました。後半のパネルディスカッションでは、来場者の方から寄せられた質問にお答えしながら、高野先生と全国がん患者団体連合会理事長の天野慎介さん、当センターの医師と看護師、そしてがん相談員が、「治療・医療を選ぶということー自分らしい選択とはー」について討論しました。来場者の方にもアナライザーシステム(回答を自動集計するもの)を使って討論にご参加いただきました。

来場者の方から「普段は聞けないようなことを聞いてよかった」「来てよかった」などのご意見もいただき、有意義なシンポジウムになったと思います。



## ロボット支援手術による腎がんの部分切除が可能になりました。

今回ご案内する内容は、泌尿器科で治療する悪性腫瘍の一つである腎がんの手術治療についてです。

腎がんでは放射線治療の効果がほとんど期待できないため、転移がない場合の治療として手術が最も優先されます。また、転移がある腎がんでも、手術で原発巣（この場合は腎臓にあるがん）を取り除いた方が薬物治療の効果も高い事が分かっており、積極的に手術を考慮する機会が多いです。遺伝性腎がんの場合を除いて腎がんはほとんどが片方の腎臓のみに見つかり、また腎臓は左右に一つずつある臓器のため、がんのある腎臓を全摘する手術（腎摘除術）が広く行われてきました。また、手術の創部を小さくできる腹腔鏡での手術が標準的に行われている分野でもあります。

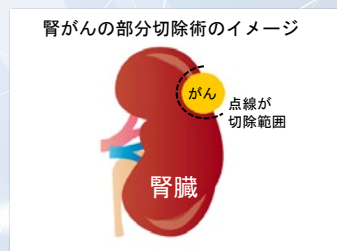
時代の変遷と共に小径（小さい）腎がんではがんを周囲の正常組織と共に部分切除して、出来るだけ腎臓を残す手術が考慮されるようになりました。多くの研究で腎がんの部分切除と腎摘除術の治療効果に差がない事も分かりました。ただし部分切除を行う場合、切除した部分の腎臓を縫い合わせて出血等が起こらない様にする必要があります。従来の腹腔鏡手術では、糸を使って臓器を縫い合わせることは非常に高度な技術が必要とされるため、腹腔鏡による腎がんの部分切除は中々広まらない状況でした。

一方で泌尿器科では特に前立腺がんにおいて、手術支援ロボット（ダヴィンチサージカルシステム）による手術が標準治療となっています。当院では2010年にダヴィンチを導入、2011年から前立腺がん保険診療となり、これまで950例超の患者さんにダヴィンチ手術を行っています。

ダヴィンチの特徴の一つとして、その「手」となる鉗子が多数の関節で構成されており、まるで人間の手の様な動きが再現出来るため、縫合技術を非常に得意としています。ダヴィンチによる腎がんの部分切除は、これまでの高いハードルをクリアできる画期的な手術と言えます。

以上の経緯もあり、2016年4月からダヴィンチによる腎がんの部分切除術（7cm以下の場合）が保険診療となりました。10例以上の経験がある施設で保険適応が認められるため、当院では院内の倫理審査を行い2016年9月から病院負担による治療を開始（初期10例のみ）し、2017年2月までに10例の治療を終えました。同年3月からは保険診療に移行し、現在（2017年6月）まで16例に治療を行い、これまでの症例の経過は大変良好でした。

これまで開腹術での腎がん部分切除は、術後9日間の入院が必要でしたが、ダヴィンチ手術では術後6日間で退院が可能となりました。また、これまで腹腔鏡で腎摘除術を行っていた様な症例でも半数程度はダヴィンチによる部分切除が可能と考えられ、今後も適応はますます広がっていくとの実感を持っています。



当院の手術支援ロボット（ダヴィンチSi）



術者がロボットを操作する機器

モニターとロボットの心臓部分

患者さんの体内で動くロボットのアーム

### ご案内の交通

**JR千葉駅から** 所要時間:約25分

千葉中央バス：菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地（星久喜経由）行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR鎌取駅から** 所要時間:約13分

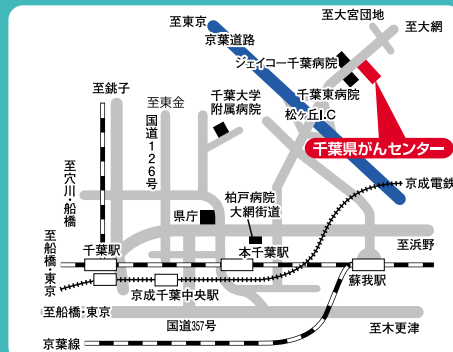
千葉中央バス：千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR蘇我駅から** 所要時間:約16分

千葉中央バス：鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**松ヶ丘I.Cから**

大網街道を大網へ向かって約2km右側



**千葉県がんセンター**

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>